

令和5年度 三光保育園分園 PINO 保護者評価に関する結果について(全体評価)

27名中 21名回答 (78%)

	項目	内容	とてもよい (とても そう思う)	よい (やや そう思う)	あまりよく ない (あま りそう思 わない)	よくない (そう思 わない)	わからない
1	教育・保育の 目標	園は、教育目標「心身ともに健康で、個性の伸び伸びした、友達同士助け合う心優しい子どもに育てる」や、あすなろう精神（できないこともあきらめずに頑張ろうとする心）を軸に、教育・保育の実践に取り組んでいると思いますか？	61.9%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%
2	意欲	園は、教育方針「よい生活習慣や態度を身につけ、自主性を養い、知性を育て、色々な経験を通して心豊かにする」ことができるように、意欲的に教育・保育活動に取り組んでいると思いますか？	66.7%	19%	9.5%	0%	4.8%
4	組織力	園は、職員全員で子どもたちを見守り、協力し合って保育を行う“チーム保育”を大切にしています。子どもの保育や指導、支援などについて、全職員が連携したり協力したりしていると思いますか？	76.2%	9.5%	9.5%	0%	4.8%
5	安全環境	職員は、定期的に安全点検を行って、各保育室の清掃や整理整頓、感染予防などもこまめに行っています。全職員が、子どもたちが安心して、安全に過ごせるような環境作りに努力していると思いますか？	71.4%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%
6	指導の工夫・ 改善	保育者は、子どもたちが興味関心をもって遊びや活動ができるように、子ども一人一人の発達を捉え、環境を整えています。子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫しながら、教育・保育の実践に努めていると思いますか？	66.7%	19%	4.8%	4.8%	4.8%
7	生活習慣の 指導	保育者は、子ども一人一人の発達段階等を考慮し、身の回りを清潔にすること、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を進んで自分でできるように関わっていると思いますか？	66.7%	19%	4.8%	4.8%	4.8%
8	信頼性・連携	職員は、できるだけ直接または電話、連絡帳等で保護者の方と話をし、家庭との連絡や情報の共有を行うように努めています。園（職員）は、気軽に相談できる体制をとっていると思いますか？	57.1%	28.6%	14.3%	4.8%	0%
9	園の公開	本園では、お便りや、ホームページ、フェイスブック等で個人情報保護を前提として、子どもたちの様子を適切に保護者の皆様に伝えられるように工夫しています。このような取り組みが、園の「見える化」につながっていると思われませんか？	52.4%	28.6%	9.5%	9.5%	0%
10	身近な人々 との関わり	分園 PINO では、三光保育園の異年齢の子どもたち、地域の方々やシニアさんと連携し、行事などを通して触れ合う機会を設けています。子どもたちによりよい教育・保育を提供するよう努めていると思いますか。	52.4%	33.3%	4.8%	9.5%	0%
11	体力の向上	保育者は、園庭やベランダで外気に触れながら戸外遊びをしたり、室内でも十分体を動かせるように室内遊具を活用しながら楽しく遊ぶ体験を多く取り入れたりしています。保育者は、子どもたちの体力向上に努めていると思いますか。	66.7%	19%	4.8%	4.8%	4.8%
12	食育の推進	家庭との連携を図りながら、子ども一人一人の生活リズムに合わせて、楽しく食事がとれるよう工夫していると思いますか。	71.4%	9.5%	9.5%	9.5%	0%
13	環境教育の 推進	保育者は、生き物の餌やり、植物への水やりを通して、自然とのかかわりを楽しんだり、観察を続けたりして、命の大切さを伝えていきます。保育者は「環境教育」の大切さを考えて保育を行っていると思いますか。	71.4%	14.3%	4.8%	9.5%	0%
14	心身の推進(道 徳性等の指導)	保育教諭は、子ども一人一人に寄り添って、応答的な声掛け、スキンシップを図りながら信頼関係を築き、安心して生活できるように関わっていると思いますか？	61.9%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%

総合評価

0歳児から2歳児までの保育施設である分園 PINO は、開園初年度ということもあり入園時期も幅があった。アンケートを取った3月時点の保護者数27名のうち21名と幼稚園及び本園に比べると低かった。14問の回答の中で、「あまりよくない」「よくない」「わからない」と答えた方が3～4人(19%)おられたことは、分園運営の未熟さや職員に対する不安等があったと推測される。令和6年度は、この結果を職員間で共有し、保護者からの信頼が得られるよう努力していきたい。

次年度への課題・改善策

本園の事業の一つを分園に移すことで、ベテランの保育士が分園に滞在し、保育目標や保育方針について本園と同じ視点で展開できるようにした。また、カリキュラムの研究を行い、分園の環境がさらに充実し、より質の高い保育が提供できるよう教材研究も続けていきたい。夏休みの期間中に、幼稚園と本園の保育者に公開保育を行うことも検討中である。

「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

(学識経験者)

今回の調査の回答率が78%ということで本園と比べると数値的にはやや落ちるものの、開園初年次ということ鑑みると決して低い数字ではない。設問8の「信頼性・連携」において「あまりよくない」と14.3%が回答しているが、預かる子どもの年齢から察すると保護者は若い年齢層で子育て経験が豊かであるといは言い難い。そういった意味でも、今後は、さらに保護者とのコミュニケーションの機会を増やし、信頼関係を築いていかれることを期待する。

(地域代表)

分園 PINO には本園のベテラン保育士さんもいらっしゃるの、保護者の皆さんは安心されていると思います。また、分園は少人数なので、本園との交流が多いと幼稚園に入園したとき、子どもたちは戸惑うことが少ないかなと思います。

(保護者代表)

「あまりよくない」「よくない」「わからない」に着目していますが、一定数発生するものですので、むしろ「とてもよい」の評価の低い8, 9, 10の課題へと取り組むほうがよいのではないのでしょうか。「とてもよい」の%が60%台の項目は先生たちの動きが上手く保護者へと伝わっていない「見える化」できていないことが課題となり、一部低評価につながっているのではないのでしょうか。4, 5が高いのは保護者による安心の表れではないのでしょうか。